

キャリア支援通信

～ 架け橋 ～

第4号 高等部版

長良特別支援学校

キャリア支援部

R2年12月9日

今年も残すところあとわずかになりました。高等部3年生は、いよいよ進路決定をする時期になります。1、2年生は、秋の就業体験や校内作業実習を終え、将来につなげるためのまとめを行う時期となります。今回は、高等部1年1組のインターンシップの様子と高等部2年3組の金華祭販売に向けた取組、訪問学級のキャリア学習を意識した授業の様子を紹介します。

3・4号は各部版ですが、4号は全学部配付します。学校の公式ホームページには過去の号もカラーで載せていますので、是非ご覧ください。



☆インターンシップの様子（高等部1年1組）

初めてのインターンシップは、Man To Man Animo株式会社にご協力いただき、オンラインで行いました。身だしなみを整え、丁寧な言葉遣いを心掛けることで、いつもの教室が引き締まった雰囲気となり、充実した2日間となりました。

仕事の「テープ起こし（録音された声を聞いて文字に起こす）」は、スクリーンキーボードを使って集中して最後まで取り組むことができました。

職業研究では、働いている社員の方にインタビューし、在宅勤務や身体との向き合い方等、病気とうまく付き合いながら働くことについて、詳しく知ることができました。

今回のインターンシップではコミュニケーションの重要性に気づき、有意義な時間となりました。この経験や学んだことを進路選択に生かしていきたいです。



☆金華祭販売に向けた取組（高等部2年3組）



金華祭販売会に向けて、カラフルなビニールを使った「poRiff（ポリフ）」製品作りに取り組みました。作業学習は週に2日、1日3時間です。「持続力」「集中力」「忍耐力」など、さまざまな力を身に付けるため、金華祭までに製品を「50個完成させること」を目標に掲げ、目標シートを作成し、毎時間完成した分のシールを貼っていきました。今日の出来高や残りの枚数を視覚的に確認することができ、「おわり」がわかりやすく、学習に見通しをもって前向きに取り組むことができました。金華祭販売会当日は、沢山の先生に商品を渡し、褒められて笑顔になりました。長時間の作業はとても大変ですが、やりがいや喜びを感じることができるのがこの学習のよさです。金華祭は終わってしまいましたが、次の目標に向かって前向きに頑張りたいと思います。



☆高等部訪問学級のキャリア学習を意識した取組

高等部訪問生は現在、在宅訪問生1名と長良医療センターに入所している生徒3名の4名が在籍しています。訪問教育では、自分の好きなことや物を見付け、卒業後の生活の中での余暇活動等に生かしていけるように、身近なもので楽しむことができる教材を工夫したり、同じ教材でも提示の仕方や音に変化を付けるなどの方法でより笑顔を引き出す支援を行ったりしています。例えば、音は音でも、破裂音（バリバリ…プリプリ…）が好きな生徒もいれば、綺麗なキラキラした音に目を大きくさせ、笑顔になる生徒もいます。そんな生徒一人一人の特徴に合わせ、好きなものが盛り込まれた絵本や歌、楽器等を利用した授業を進めています。また、複数の教員が授業を担当することで、人とのかわりを広げることを意識しています。

学校行事の金華祭では、「つながり」をテーマに制作した作品等を学校内に展示・掲示しました。今年度はコロナ禍の中ではありましたが、高等部の中で動画視聴をオンラインで行い、交流会をもつことで、多くの人に訪問生の様子を知ってもらうことができました。

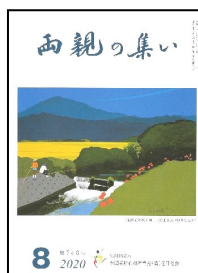


☆各部のみなさまへ

校舎1階の廊下に置いてありますキャリア関係の情報誌と、関係団体を紹介します。

両親の集い

全国の重症児（者）の親さんが心のつながりを深めるため、さらに重症児（者）問題をより多くの人々に理解していただくために、「両親の集い」を1～2か月に一回発行しています。HPには最新号の目次が載っています。学校に一冊届きますので、ご覧になりたい方は担任までお申し出ください。



働く広場

障害者雇用問題を身近に感じることができる一冊です。独立行政法人の高齢・障害・求職者雇用支援機構が啓発活動の一環として、毎月発行しています。職場レポートや統計データ、法律改正など多彩なコンテンツを掲載しています。HPのデジタルブックで見ることができます。



一日も早く

『日本筋ジストロフィー協会』（患者会）が隔月で発行しています。会の活動、患者さんの行っている社会活動の紹介、医療や研究の最新情報、イベント情報などの情報を提供しています。HPには、バックナンバーも含め、簡単な紹介があります。学校に1冊届きます。



岐阜県難病団体連絡協議会

『難病連』と省略して言います。『難病生きがいサポートセンター』は難病の総合的な相談窓口と情報発信の基地です。相談会、病気の学習・交流会、病気を抱える子ども、就労の相談等を行っています。現在では『筋ジス協会』『岐心会』など18の患者会が加盟しています。

